

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2013 年 5 月 2 日(02.05.2013)



(10) 国際公開番号
WO 2013/062064 A1

- (51) 国際特許分類:
A47J 27/00 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2012/077659
- (22) 国際出願日: 2012 年 10 月 25 日(25.10.2012)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2011-235631 2011 年 10 月 27 日(27.10.2011) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 三菱電機株式会社(MITSUBISHI ELECTRIC CORPORATION) [JP/JP]; 〒1008310 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号 Tokyo (JP). 三菱電機ホーム機器株式会社(MITSUBISHI ELECTRIC HOME APPLIANCE CO., LTD.) [—/JP]; 〒3691295 埼玉県深谷市小前田 1 7 2 8 番地 1 Saitama (JP).
- (72) 発明者; および
- (71) 出願人 (米国についてのみ): 上岡 孝暢(KAMI-OKA, Takanobu) [—/JP]; 〒3691295 埼玉県深谷市

小前田 1 7 2 8 番地 1 三菱電機ホーム機器株式会社内 Saitama (JP). 富田 真司(TOMITA, Shinji) [—/JP]; 〒3691295 埼玉県深谷市小前田 1 7 2 8 番地 1 三菱電機ホーム機器株式会社内 Saitama (JP).

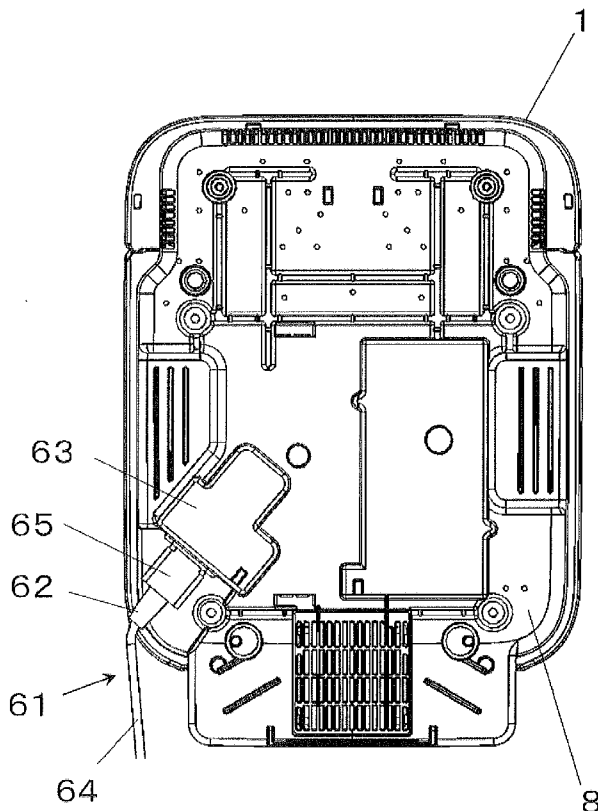
(74) 代理人: 小林 久夫, 外(KOBAYASHI, Hisao et al.); 〒1050001 東京都港区虎ノ門一丁目 1 9 番 1 0 号第 6 セントラルビル 特許業務法人きさ特許商標事務所 Tokyo (JP).

(81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.

[続葉有]

(54) Title: RICE COOKER

(54) 発明の名称: 炊飯器



(57) Abstract: An inlet structure (63) is disposed such that the bush (62) and the plug part (65) of a detachable power source cord (61) are stored within the projected plane at the bottom surface of a main body (1) when the plug part (65) is inserted into an inlet (63a). As a consequence, it is possible to reduce the risk in which the base (connection part) of the cord connected to the plug part becomes dirty.

(57) 要約: インレット構造体 (63) を、プラグ部 (65) がインレット (63a) に差し込まれた場合、着脱式電源コード (61) のプラグ部 (65) 及びブッシュ (62) が、本体 (1) の底面の投影面内に収まるように配置することで、プラグ部に接続されているコードの根元部 (接続部分) に汚れが付着するリスクを軽減できるようにする。

WO 2013/062064 A1



(84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR),

OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

- 国際調査報告 (条約第 21 条(3))
- 補正された請求の範囲及び説明書 (条約第 19 条(1))

明 細 書

発明の名称：炊飯器

技術分野

[0001] 本発明は、炊飯器に関し、特に、炊飯器本体への電源コードの接続構造に関する。

背景技術

[0002] 従来の炊飯器として、ヒーターに電源を供給する電源プラグ接続装置に電源プラグを挿入して接続し、電源プラグを電源プラグ接続装置に挿入したとき、電源プラグの挿入状態を確認できる視認用リブを設けたものがある（例えば、特許文献１）。

先行技術文献

特許文献

[0003] 特許文献１：特開２００５－３０４８９５号公報（第３－４頁、図１）

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0004] しかしながら、上記の特許文献１においては、電源プラグの接続部分が、本体の外郭付近に設けてあるので、電源プラグに接続されているコードの根元部（接続部分）に少なからず、折り曲げによるストレスがかかり、果てにはコードが傷んで、ショートしたり、炊飯器本体の故障を招来するという問題点があった。

また、電源プラグに接続されているコードの根元部（ブッシュ等）が、炊飯器本体の外郭から外部に飛び出している構造であるため、その根元部の上部に、ご飯がこぼれ落ちたり、炊飯時において水がこぼれたり、あるいは、不使用時においても埃等が堆積する等の常に汚れに対してのリスクが存在するという問題点があった。

[0005] 本発明は、上記のような課題を解決するためになされたもので、第１の目的は、プラグ部に接続されているコードの根元部（接続部分）に汚れが付着

するリスクを軽減する炊飯器を得ることである。

また、第2の目的は、電源コードの折り曲げによるストレスを軽減する炊飯器を得ることである。

課題を解決するための手段

[0006] 本発明に係る炊飯器は、調理物が入られる内釜を収容する本体と、該本体の底面側に接続され、外部電源から前記本体への電源供給を媒介する電源コードと、を備え、該電源コードの前記本体への接続部分が、前記本体の底面の投影面内に収まるものである。

発明の効果

[0007] 本発明によれば、電源コードの本体への接続部分が本体の底面の投影面内に収まるので、その接続部分にご飯又は水がこぼれ落ちたりすることによる汚れが発生することを抑制することができ、汚れに対するリスクを軽減することができる。

図面の簡単な説明

[0008] [図1]本発明の実施の形態1に係る炊飯器の外観斜視図である。

[図2]本発明の実施の形態1に係る炊飯器の蓋2が開いた状態を示す図である。

[図3]本発明の実施の形態1に係る炊飯器の底面図、かつ、着脱式電源コード61が接続された状態を示す図である。

[図4]本発明の実施の形態1に係る炊飯器の底面図、かつ、着脱式電源コード61が取り外された状態を示す図である。

[図5]本発明の実施の形態1に係る炊飯器の底面図におけるインレット構造体63周辺部の拡大図である。

発明を実施するための形態

[0009] 実施の形態1.

(炊飯器の概略構成)

図1は、本発明の実施の形態1に係る炊飯器の外観斜視図であり、図2は

、同炊飯器の蓋 2 が開いた状態を示す図である。以下、図 1 及び図 2 を参照しながら、本実施の形態に係る炊飯器の構成の概略について説明する。

[0010] 図 1 で示されるように、本実施の形態に係る炊飯器の本体 1 は、炊飯器の上面を覆う蓋 2 と、炊飯器の中部の外郭を形成し、図 2 において後述する内釜 1 1、及び、その内釜 1 1 を誘導加熱する加熱コイル（図示せず）等を内包する本体側面ケース 7 と、その本体側面ケース 7 の下部に設置され、本体 1 を支える本体底面ケース 8 とを有する。

[0011] 本体 1 は、略直方体の形状を呈している。

[0012] 蓋 2 は、図 2 で示されるように、本体 1 の後部側において、本体側面ケース 7 に回動自在に連結されている。また、蓋 2 は、その前面に蓋開きボタン 5、上面に操作部 4 及び表示部 6、並びに下面に内蓋 1 4（図 2 参照）を有している。

[0013] 蓋開きボタン 5 は、使用者により押下されることによって、蓋 2 を開状態にするためのものである。

操作部 4 は、内釜 1 1 に投入された米等の調理物に対する炊飯工程等を開始させるためのものである。この操作部 4 は、使用者によって操作されることによって、操作信号を生成し、その操作信号を本体 1 内に設置されている制御基板（図示せず）に送信する。

表示部 6 は、前述の炊飯工程の進捗状況の表示、時計表示、及び異常表示等をするものである。

内蓋 1 4 は、蓋 2 が閉状態の場合に、内釜 1 1 の開口部を覆うものである。

[0014] 図 2 で示されるように、本体側面ケース 7 には、着脱自在に内釜 1 1 が収納可能となっている。使用者によって、この内釜 1 1 に米等の調理物を投入し、蓋 2 を閉状態とし、操作部 4 において炊飯開始操作がなされることによって、炊飯工程が実施される。この炊飯工程の際、内釜 1 1 は、前述したように、加熱コイル（図示せず）から誘導加熱を受け、投入された調理物の調理が実施される。

[0015] (炊飯器のインレット構造体 6 3 の構成及び着脱式電源コード 6 1 の接続態様)

図 3 は、本発明の実施の形態 1 に係る炊飯器の底面図、かつ、着脱式電源コード 6 1 が接続された状態を示す図であり、図 4 は、同炊飯器の底面図、かつ、着脱式電源コード 6 1 が取り外された状態を示す図であり、そして、図 5 は、同炊飯器の底面図におけるインレット構造体 6 3 周辺部の拡大図である。以下、図 3 ～図 5 を参照しながら、本実施の形態に係る炊飯器のインレット構造体 6 3 の構成及び着脱式電源コード 6 1 の接続態様について説明する。

[0016] 図 3 及び図 4 で示される炊飯器において、図面上の上側部分が当該炊飯器の前部であり、下側部分が当該炊飯器の後部である。図 3 ～図 5 で示されるように、本実施の形態に係る炊飯器の底面は本体底面ケース 8 によって形成されており、この本体底面ケース 8 に着脱式電源コード 6 1 を差し込むためのインレット構造体 6 3 が設置されている。

[0017] 着脱式電源コード 6 1 は、本実施の形態に係る炊飯器に対して外部からの電源供給を媒介するものであり、プラグ部 6 5、コード部 6 4 及びブッシュ 6 2 によって構成されている。

[0018] プラグ部 6 5 は、後述するインレット構造体 6 3 のインレット 6 3 a に着脱自在に差し込む部分であり、本実施の形態に係る炊飯器に、コード部 6 4 を介して電源を供給するものである。

[0019] ブッシュ 6 2 は、プラグ部 6 5 とコード部 6 4 との接続部分に取り付けられており、この接続部分におけるコード部 6 4 の折り曲げによるストレスを軽減するものである。

[0020] インレット構造体 6 3 は、着脱式電源コード 6 1 のプラグ部 6 5 を差し込むためのインレット 6 3 a を有しており、プラグ部 6 5 から供給される電源を、本実施の形態の炊飯器内の制御基板等の電気部品に展開供給する構造を有している。また、インレット構造体 6 3 は、本体 1 の底面の角部近傍に、かつ、インレット 6 3 a へのプラグ部 6 5 の差し込み方向が、本体 1 の幅方

向及び奥行き方向の双方に対して傾斜した方向となるように配置されている。さらに、インレット構造体 6 3 は、図 3 で示されるように、プラグ部 6 5 がインレット 6 3 a に差し込まれた場合、着脱式電源コード 6 1 のプラグ部 6 5 及びブッシュ 6 2 が、本体 1 の底面の投影面内に収まるように配置されている。

[0021] (実施の形態 1 の効果)

以上の構成のように、インレット構造体 6 3 が、インレット 6 3 a へのプラグ部 6 5 の差し込み方向が、本体 1 の幅方向及び奥行き方向の双方に対して傾斜した方向となるように配置され、かつ、プラグ部 6 5 がインレット 6 3 a に差し込まれた場合、着脱式電源コード 6 1 のプラグ部 6 5 及びブッシュ 6 2 が、本体 1 の底面の投影面内に収まるように配置されることによって、プラグ部 6 5 とコード部 6 4 との接続部分におけるコード部 6 4 の折り曲げによるストレスを軽減することが可能となる。

[0022] また、インレット構造体 6 3 が、本体 1 の底面の角部近傍に配置され、上記のようにプラグ部 6 5 の差し込み方向が傾斜した方向となるように配置され、かつ、プラグ部 6 5 及びブッシュ 6 2 が本体 1 の底面の投影面内に収まるように配置されることによって、着脱式電源コード 6 1 の本体 1 の幅方向及び奥行き方向の差し込み長さが、差し込み方向が幅方向の場合又は奥行き方向の場合の差し込み長さよりも短くなり、本体底面ケース 8 内におけるスペースを有効活用することができる。

[0023] さらに、インレット構造体 6 3 が、プラグ部 6 5 及びブッシュ 6 2 が本体 1 の底面の投影面内に収まるように配置されることによって、プラグ部 6 5 とコード部 6 4 との接続部分であるブッシュ 6 2 にご飯又は水がこぼれ落ちたりすることによる汚れが発生することを抑制することができ、汚れに対するリスクを軽減することができる。

[0024] なお、着脱式電源コード 6 1 のプラグ部 6 5 のインレット 6 3 a に対する差し込み方向は、本体底面ケース 8 の底面と平行である必要はなく、本体 1 を載置するのに支障がない範囲であれば、本体底面ケース 8 の底面との関係

において、プラグ部 6 5 のインレット 6 3 a に対する差し込み方向を限定するものではない。

- [0025] また、図 3 ～図 5 で示されるように、本実施の形態に係る炊飯器の電源コードとして、本体 1 とは別体の着脱可能な着脱式電源コード 6 1 としたが、これに限定されるものではない。すなわち、着脱式ではなく、固定接続された直付けタイプの電源コードとしてもよい。この場合も、固定接続部分が、本体 1 の角部近傍に配置され、電源コードの接続方向が上記と同様に傾斜した方向となるように配置され、かつ、ブッシュ等の接続部分が本体 1 の底面の投影面内に収まるように配置すれば、上記と同様の効果を得ることができる。ただし、本実施の形態のように、着脱式電源コード 6 1 を採用することによって、着脱式電源コード 6 1 の劣化及び損傷等により交換が可能であるという利点がある。また、着脱式電源コード 6 1 を本体 1 から取り外した状態で、本体 1 の持ち運びが可能なので使い勝手が向上するという利点もある。

符号の説明

- [0026] 1 本体、2 蓋、4 操作部、5 蓋開きボタン、6 表示部、7 本体側面ケース、8 本体底面ケース、11 内釜、14 内蓋、61 着脱式電源コード、62 ブッシュ、63 インレット構造体、63a インレット、64 コード部、65 プラグ部。

請求の範囲

- [請求項1] 調理物が入れられる内釜を収容する本体と、
 該本体の底面側に接続され、外部電源から前記本体への電源供給を
 媒介する電源コードと、
 を備え、
 該電源コードの前記本体への接続部分が、前記本体の底面の投影面
 内に収まる
 ことを特徴とする炊飯器。
- [請求項2] 前記本体の底面は、略矩形状であり、
 前記電源コードは、前記本体の底面の角部近傍に接続され、
 前記電源コードの前記本体への接続方向が、前記本体の幅方向及び
 奥行き方向の双方に対して傾斜した方向である
 ことを特徴とする請求項 1 記載の炊飯器。
- [請求項3] 前記電源コードは、前記本体に着脱自在に接続されるプラグ部、該
 プラグ部に接続されたコード部、及び、前記プラグ部と前記コード部
 との接続部分に取り付けられたブッシュによって構成された着脱式電
 源コードであり、
 前記本体の底面には、前記プラグ部が差し込まれて接続されるイン
 レットが形成され、
 前記プラグ部が前記インレットに接続された場合、前記プラグ部及
 び前記ブッシュが、前記本体の底面の投影内面内に収まる
 ことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 記載の炊飯器。

補正された請求の範囲
[2013年1月8日(08.01.2013) 国際事務局受理]

[請求項 1] (補正後)

調理物が入れられる内釜を収容する本体と、
該本体の底面側に接続され、外部電源から前記本体への電源供給を媒介する電源コードと、
を備え、
前記電源コードは、前記本体に着脱自在に接続されるプラグ部、該プラグ部に接続されたコード部、及び、前記プラグ部と前記コード部との接続部分に取り付けられたブッシュを備えた着脱式電源コードであり、
前記本体の底面は略矩形状であり、
前記本体の底面には、前記プラグ部が差し込まれて接続されるインレットが形成され、
前記電源コードは、前記本体の底面の角部近傍に接続され、
前記プラグ部が前記インレットに接続された場合、前記プラグ部及び前記ブッシュが前記本体の底面の投影面内に収まる位置に前記インレットを配置した
ことを特徴とする炊飯器。

[請求項 2] (補正後)

前記電源コードの前記本体への接続方向が前記本体の幅方向及び奥行き方向の双方に対して傾斜した方向とした
ことを特徴とする請求項 1 記載の炊飯器。

[請求項 3] (削除)

条約第19条（1）に基づく説明書

請求項 1 には、原請求項 2 の第 1 及び第 2 パラグラフと原請求項 3 の内容とが加えられた。

In the claim 1, the first and second paragraphs of the original claim 2 and the contents of the original claim 3 are added to the original claim 1.

請求項 1 の表現「前記プラグ部が前記インレットに接続された場合、前記プラグ部及び前記ブッシュが前記本体の底面の投影面内に収まる位置に前記インレットを配置した」は、明細書の段落 0 0 2 0 の記載に基づく。

The expression of the claim 1, “前記プラグ部が前記インレットに接続された場合、前記プラグ部及び前記ブッシュが前記本体の底面の投影面内に収まる位置に前記インレットを配置した” is based on paragraph 0020 of the description as filed.

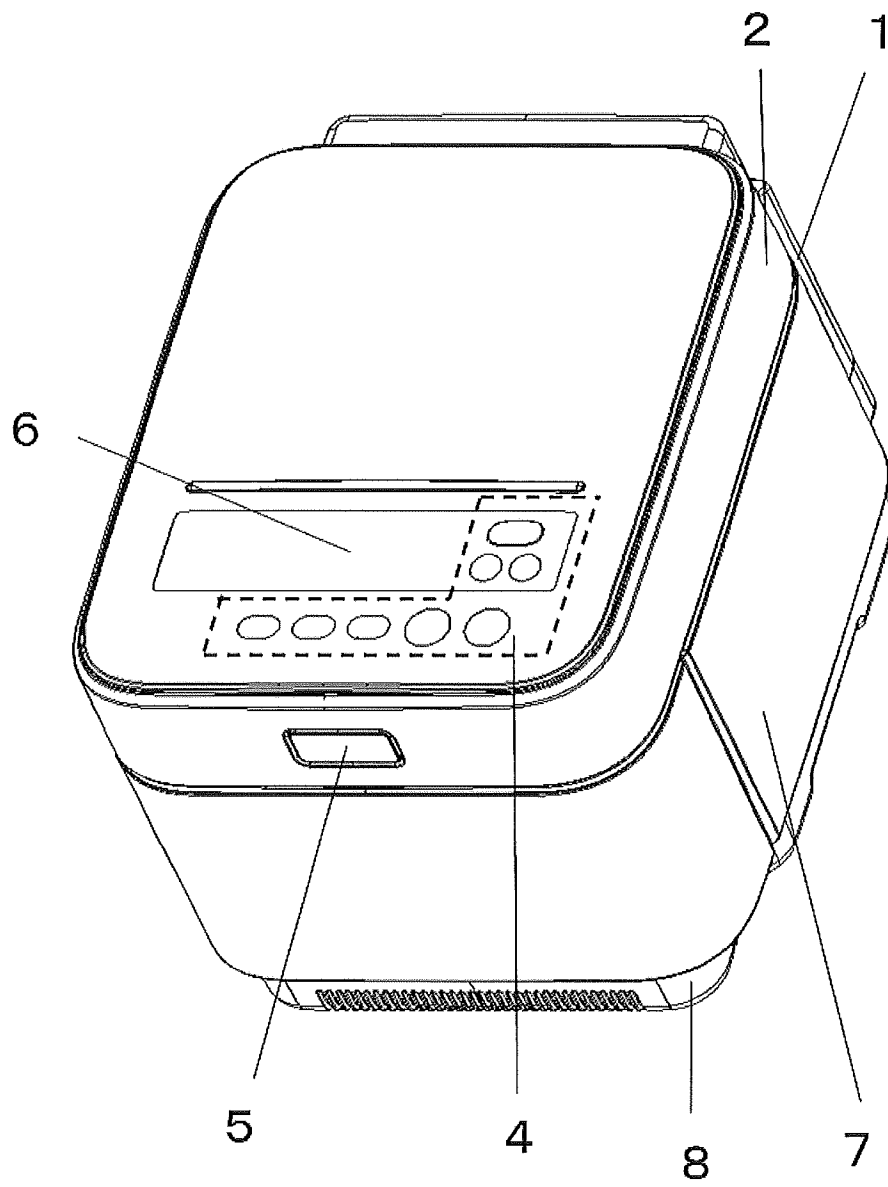
請求項 2 では、原請求項 2 の第 1 及び第 2 パラグラフが削除された。

In the claim 2, the first and second paragraphs are deleted from the original claim 2.

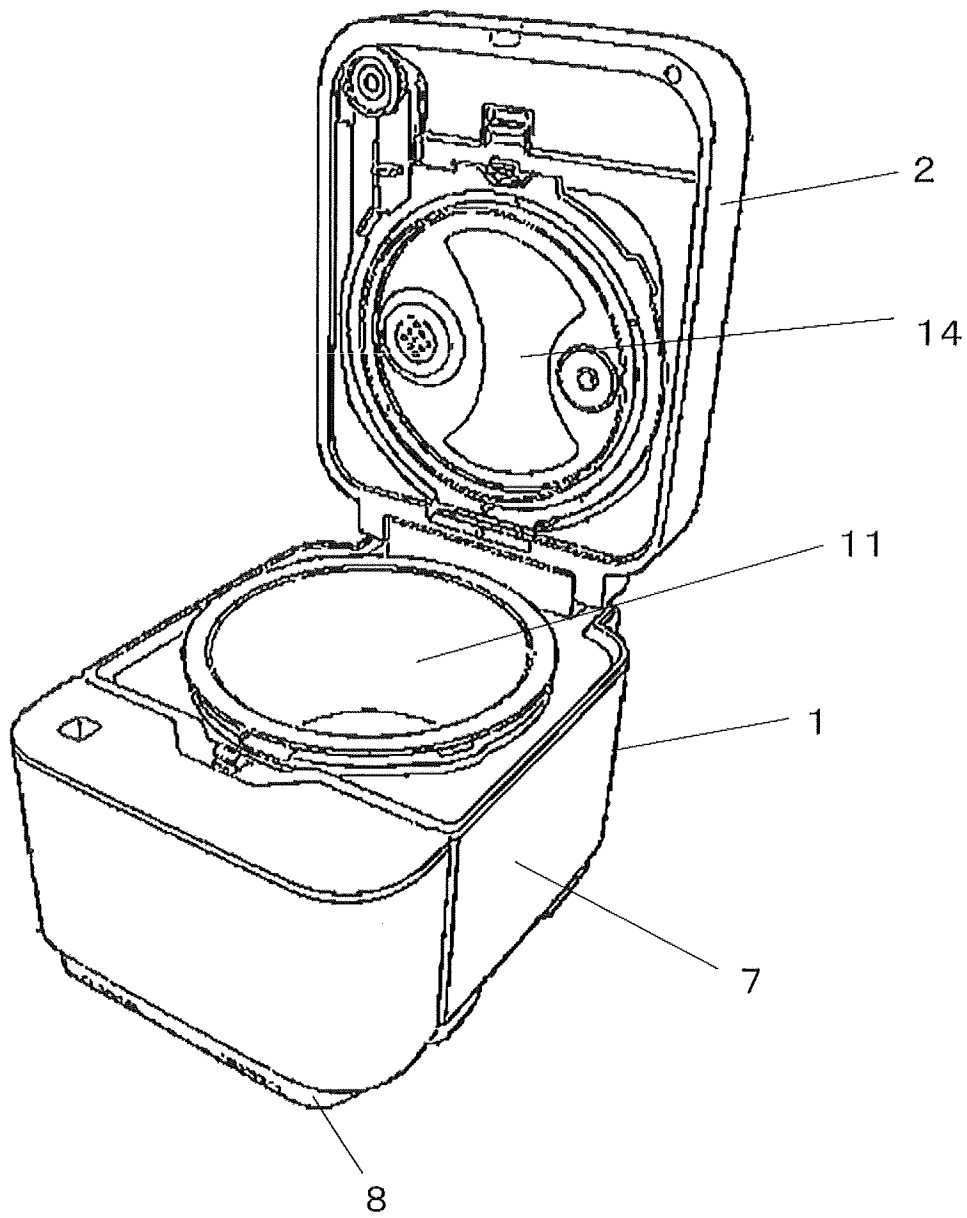
請求項 3 は、削除された。

The original claim 3 is cancelled.

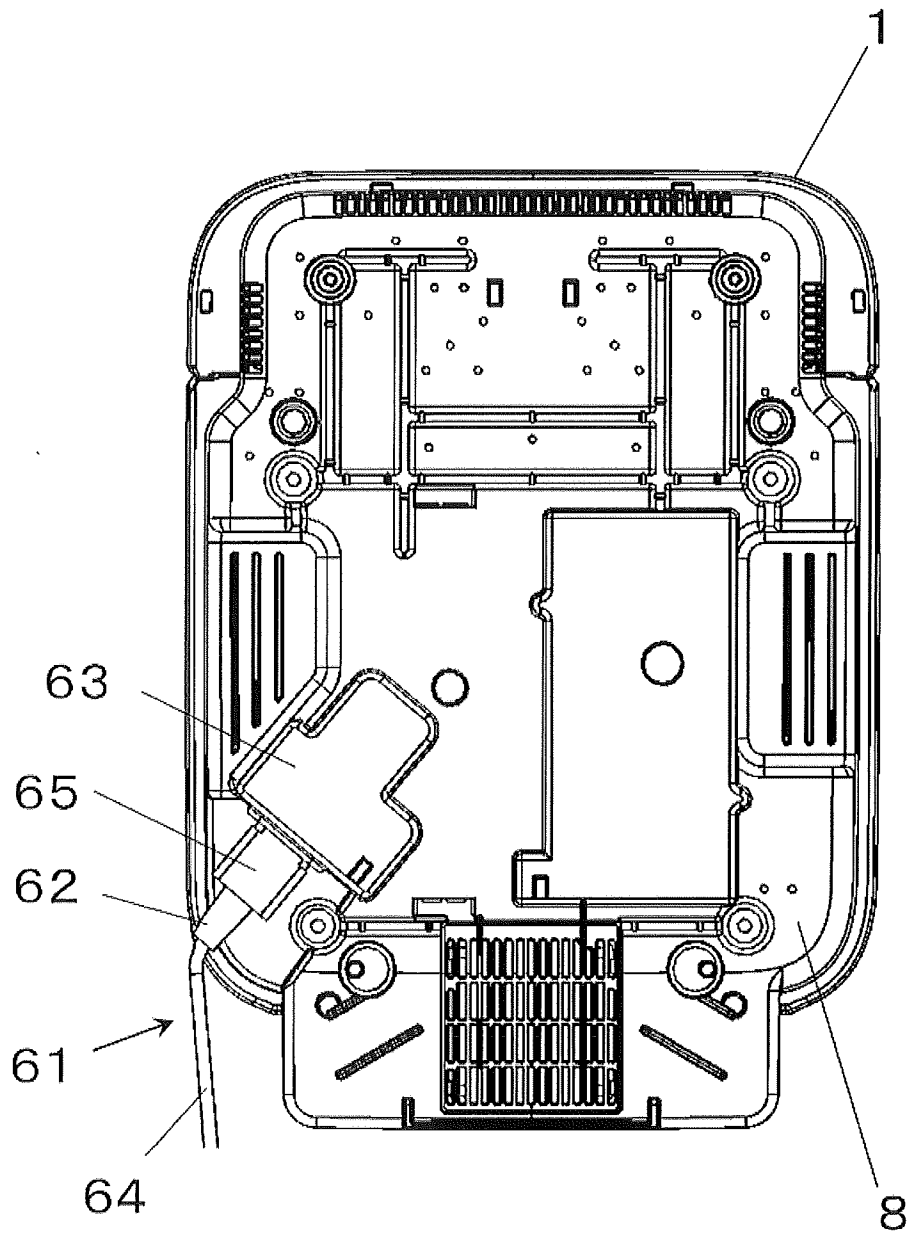
[図1]



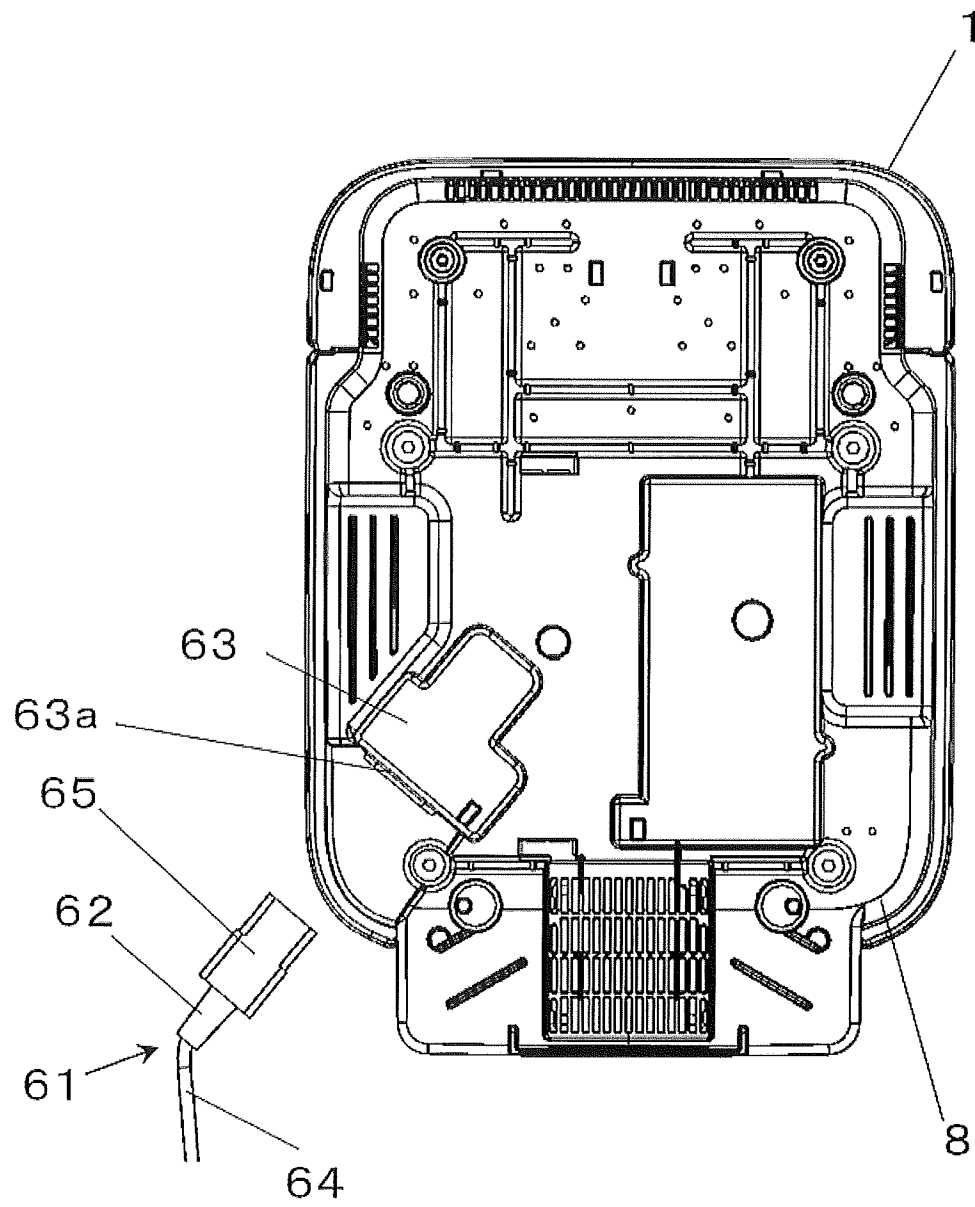
[図2]



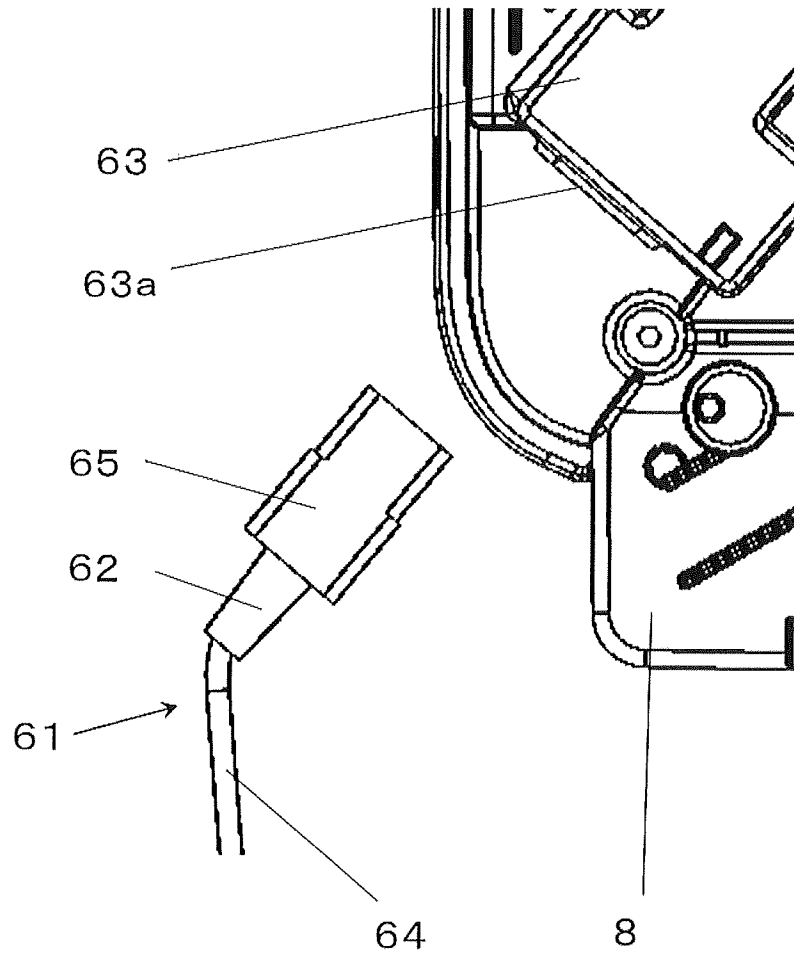
[図3]



[図4]



[図5]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2012/077659

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A47J27/00 (2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A47J27/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho 1922-1996 Jitsuyo Shinan Toroku Koho 1996-2012

Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971-2012 Toroku Jitsuyo Shinan Koho 1994-2012

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP 63-154108 A (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.), 27 June 1988 (27.06.1988), entire text; all drawings (Family: none)	1 2-3
Y	JP 7-59664 A (Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.), 07 March 1995 (07.03.1995), paragraphs [0001], [0018] to [0020]; all drawings (Family: none)	2-3
Y	JP 2010-273937 A (Tiger Corp.), 09 December 2010 (09.12.2010), paragraphs [0006], [0026] to [0027]; fig. 1, 5 (Family: none)	2-3



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
14 November, 2012 (14.11.12)Date of mailing of the international search report
27 November, 2012 (27.11.12)Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2012/077659

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2570950 Y2 (Zojirushi Corp.), 13 May 1998 (13.05.1998), paragraphs [0007] to [0010], [0013]; fig. 3 to 4 & JP 6-7625 U	3
A	JP 2000-175817 A (Sanyo Electric Co., Ltd.), 27 June 2000 (27.06.2000), (Family: none)	1-3

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. A47J27/00 (2006.01) i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (I P C))

Int.Cl. A47J27/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 2 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 2 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 2 年

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X Y	JP 63-154108 A (松下電器産業株式会社) 1988. 06. 27, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1 2-3
Y	JP 7-59664 A (松下電器産業株式会社) 1995. 03. 07, 段落【0001】, 【0018】 - 【0020】, 全図 (ファミリーなし)	2-3
Y	JP 2010-273937 A (タイガー魔法瓶株式会社) 2010. 12. 09, 段落 【0006】, 【0026】 - 【0027】, 第 1, 5 図 (ファミリーなし)	2-3

☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の 1 以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

1 4 . 1 1 . 2 0 1 2

国際調査報告の発送日

2 7 . 1 1 . 2 0 1 2

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (I S A / J P)
郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5
東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号

特許庁審査官 (権限のある職員)

豊島 ひろみ

3 L

9 4 2 6

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 3 3 7

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2570950 Y2 (象印マホービン株式会社) 1998.05.13, 段落【0007】 - 【0010】 , 【0013】 , 第3-4 図 & JP 6-7625 U	3
A	JP 2000-175817 A (三洋電機株式会社) 2000.06.27, (ファミリーなし)	1-3